

事業シート

総合戦略事業 事業シート

No.	1	年度	令和元年	担当課	企画課								
事業名	東近江地域広域婚活事業												
総合戦略における位置付け	(3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ①気軽に相談できる機会を設ける												
	重要業績評価指標 (KPI)	当プロジェクトによる婚姻数											
			数値	単位	時期								
		基準値	新規	組	H27								
	目標値	10	組	R1									
事業の目的	東近江圏域における少子化対策として、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる観点から、まず結婚の前提となるカップリングを目指した事業として、結婚を望む方々に対して、自分たちが住む町以外の方々と交流し、数多くの出会いの場を設定することにより、結婚の前提となるカップルの成立をめざす。												
昨年度までの実績	◎平成28年度 広域婚活事業（福井県小浜市と実施） → 男性17名 女性20名参加 6組12名のカップル成立 → うち2組4名が成婚（H29.11とH30.10 確認） ◎平成29年度 東近江地域広域婚活事業（東近江市、日野町、竜王町、当市が連携） → 男性25名 女性25名参加 10組20名のカップル成立 → うち2組4名が成婚（H30.4とH31.1 確認） ◎平成30年度 東近江地域広域婚活事業（同上） → 男性20名 女性18名参加 6組12名のカップル成立												
今年度実績	◎事前講習会の実施（R1.9.7開催 男性25名 女性8名参加） ・婚活事業参加者を対象に、婚活事業に臨む姿勢や必要なスキル、服装およびカラーコーディネートを事前に学ぶことで、事業でのカップル成立率の向上を図った。対象に、婚活事業に臨む姿勢や必要なスキルを事前に学び、実践につなげることで、婚活でのカップル成立率の向上を図る。 ・婚活イベントの参加要件として位置付けている。 ◎婚活イベントの実施（R1.10.5開催 男性23名 女性25名参加） ⇒ <b>9組18名のカップル成立</b> ・会場はグリーンホテルYes近江八幡 ・東近江地域において、結婚の希望を叶える取組を行うにあたり、自分たちが住む町以外の方々と交流し、数多くの出会いの場を設定することにより、結婚の前提となるカップルの成立を目指した。												
	事業独自の重要業績評価指標 (KPI)	カップル成立											
			数値	単位	時期								
		基準値	—	—									
目標値		6	組	R1.10.5									
実績	H29末	H30末		R元末									
	10組	6組		9組									
達成状況	概ね達成している（☆☆☆）												
決算 (未確定のものは 予算額)	費目	金額 (円)		費目	金額 (円)								
	1 報償費	20,000	6										
	2 消耗品費	9,147	7										
	3 印刷製本費	108,000	8										
	4 使用料及び賃借料	26,510	9										
	5		10										
合計					163,657								
次年度スケジュール	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	募集期間			事前講習会			← アンケート調査 →			婚活イベント			

総合戦略事業 事業シート

No.	2	年度	R元	担当課	企画課								
事業名	未来作りキャンパス事業												
総合戦略における位置付け	(2) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ④地域の未来につながる活動と人材を創出する拠点を形成する (1) 未来につながるテーマについて、市民と学生が共に創造的・実践的に学ぶ場として「近江八幡未来づくりキャンパス」を設置												
	総合戦略における重要業績評価指標 (KPI)	当プロジェクトから生まれたアクション数											
			数値	単位	時期								
		基準値	(新規)	件	H27年度								
	目標値	3	件	H31年度									
事業の目的	地域を持続可能に変革していく次世代の担い手の育成を目的として、ESDの観点を取り入れ、若者が知識の習得にとどまらず、自ら主体的に地域の課題を解決する実践力を養う仕組みづくり												
昨年度までの実績	<b>【地域資源活用塾の企画・運営】</b> ○講座開講 地域資源を活用しての、地域の社会的課題の解決につながる生業づくりや、社会起業を構想・実践する人材育成の場として「地域資源活用塾」を開講。 H28年度 ⇒ 全4回 (塾生：17名) H29年度 ⇒ 全4回 (塾生：15名) H30年度 ⇒ 全4回 (塾生：25名 実践コース12名、入門コース13名) ○グループワーク 塾生をテーマ毎にチーム分けし、開講期間中を通じて自主的なグループワークを実施。チームにはメンター (伴走者・アドバイザー) を配置し、活動の進捗管理や、チームへの助言を行うことで継続的な支援を実施。 また、各チームの実情に合わせて専門家や実践者から個別のレクチャーを実施。 ○成果発表会開催 チーム毎に活動結果、及び今後の事業計画等について発表、塾長 (市長) や有識者より講評、アドバイスを実施。その後、来場者を含めたパワーアップ会議を開催。塾生の活動内容・計画に対し、より良いものとするための意見交換を行った。												
今年度実績	<b>【未来づくりキャンパス (ESD版) の実施】</b> ○「地域の未来のカタチを考える～中高生のためのグループワーク～」 (目的) 地域を持続可能に変革する次世代の若い担い手の育成 地域の魅力や可能性を知ること、地域を知らずに都会へ流出する若者を減らし、将来的に近江八幡で活躍する主体性のある若者を育成する。 (根拠) 過去の地域資源活用塾において、若い世代ほど修了後の活動定着率が高く、また事後アンケートにおいても前向きな取組意欲があった。 (概要) 市内中高生を対象として、近江八幡の「森・里・川・湖」をフィールドに地域の課題とその解決方法を探るフィールドワーク・ワークショップを実施。今年度については、「水」をテーマに水質調査や地域のキーマンへのヒアリングを実施し、地域の移り変わりとそこから導き出される課題を認識し、課題解決策と自らの役割について考察した。 (連携) 京都大学「森里海連環学教育ユニット」 (参加) 高校生14名												
	事業独自の重要業績評価指標 (KPI)	該当指標なし											
			数値	単位	時期								
		基準値	—	—	—								
		目標値	—	—	—								
	実績	H29末	H30末	R元末									
		—	—	—									
達成状況													
決算 (未確定のものは予算額)	費目		金額 (円)		費目	金額 (円)							
	1	消耗品費	20,000	5									
	2	手数料	40,900	6									
	3	委託料	484,000	7									
	4	使用料及び賃借料	26,000	8									
合計						570,900							
次年度スケジュール	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	← 企画		→ 受講生募集期間		● → プログラム実施期		● 開講		● 成果発表会 (SDGsシンポジウム)				


総合戦略事業 事業シート

No.	3	年度	R元	担当課	文化観光課									
事業名	「戦国・安土」を活かした観光プロモーション													
総合戦略における位置付け	(2) 新しいひとの流れをつくる ①地域資源を活かした新たなひとの流れをつくる													
	総合戦略における重要業績評価指標(KPI)	観光入込客数(滋賀県観光入込客統計調査)												
			数値	単位	時期									
		基準値	3,021	千人	H25									
	目標値	3,300	千人	H31										
事業の目的	2020年放映のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」に織田信長公や安土城が登場することから、安土の観光振興の絶好の機会ととらえ、行政だけでなく、観光関連団体、商工関係団体等が一体となって、「戦国・安土」の魅力の再発見、発信・PRを行い、一過性に終わることない持続性と将来性のある観光振興を図る。													
昨年度までの実績	*令和元年度新規事業													
今年度実績	<p>○プロモーション、イベントに関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県と連携したイベントの実施 滋賀県・びわこビジターズビューローが展開する大型観光キャンペーン「戦国ワンダーランド」のオープニングイベントが安土文芸の郷をメイン会場として開催されるのに伴い、武将隊によるPR、竹相撲の紹介など、「戦国・安土」の魅力を発信した。</li> <li>・情報発信・ウェブの活用 滋賀県やびわこビジターズビューローが展開する「戦国ワンダーランド」への積極的な参加と県内外の関係市町とも連携したキャンペーン等を活用した情報発信を行った。 LINE公式アカウントを通して、明智光秀公ゆかりの歴史背景を合わせた観光情報を発信する「明智光秀AI」を14の関係自治体と共同で提供開始した。</li> <li>・モニターツアーの実施 安土地域ならではの立地を活かし、戦国時代の主要交通でもあった湖上交通を活用した観光ルートの開発など、ツアー造成促進のための旅行会社と連携したモニターツアーを実施した。</li> </ul> <p>○コンテンツ整備に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安土信長ロゴマークの制作・活用 織田信長公や安土のさらなる認知度向上と安土地域への誘客促進を目的としたロゴマーク(安土信長ロゴマーク)を制作し、積極的な活用推進を図った。</li> <li>・物産品、土産物の開発 安土地域ならではの食材や郷土食の掘り起しを行い、ストーリー性のある商品の開発・研究を行った。</li> </ul> <p>○受け入れ態勢に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR安土駅 駅舎のラッピング JR安土駅の駅舎に安土城をイメージしたラッピングを行い、観光客の訪問満足度の向上を図った。</li> <li>・「信長隊安土衆」を活用したおもてなし 現在活動している「信長隊安土衆」を活用し、関連施設での観光案内や写真撮影等、観光客の訪問満足度の向上に努めた。</li> <li>・ラッピングタクシーの運行 市内タクシー会社と連携し、安土信長ロゴマークをラッピングしたタクシーの運行を行い、誘客促進を図った。</li> </ul>													
		事業独自の重要業績評価指標(KPI)	観光入込客数(滋賀県観光入込客統計調査)											
				数値	単位	時期								
			基準値	3,021	千人	H25								
	目標値		3,300	千人	H31									
	実績	H29末	H30末	R元末										
		5,339千人	5,476千人	5,659千人										
	達成状況 達成している(☆☆☆☆)													
決算 (未確定のものは予算額)		費目	金額(円)		費目	金額(円)								
	1	委託料	4,000,000	6										
	2			7										
	合計						4,000,000							
次年度スケジュール	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		入札・契約			協議・資源の磨き上げ・MAP作成・情報発信等									

総合戦略事業 事業シート

No.	4	年度	R元	担当課	文化観光課								
事業名	インバウンド誘致事業												
総合戦略における位置付け	(2) 新しいひとの流れをつくる ①地域資源を活かした新たなひとの流れをつくる												
	総合戦略における重要業績評価指標(KPI)	外国人入込客数											
			数値	単位	時期								
		基準値	3,275	人	H26								
	目標値	3,500	人	H31									
事業の目的	戦国時代やその後の歴史の変遷から形作られた現在の近江八幡の町並みや風景、文化、また世界的ブランドである織田信長、安土の魅力をも国外、特に日本文化に関心の高い欧州地域(フランス、イタリアを中心)にPRするための多言語による動画やパンフレット作成等により情報発信を強化し、インバウンド誘致を図る。												
昨年度までの実績	観光情報プラットフォーム多言語化、ICT、IoT機能拡大等。既に構築しているWi-Fiやプラットフォームサイトの多言語化や機能拡大強化を図った。 平成28年度：市内観光施設等へのWi-Fi整備や観光アプリの多言語化 平成29年度：台湾・香港向け本市PR動画の作成 平成30年度：インバウンド観光サイン調査分析業務												
今年度実績	○インバウンド用プロモーション動画制作 国内外の観光プロモーション、商談会やイベントでの活用を主とし、本市の豊富な観光資源(近江八幡の町並みや風景、文化、または世界ブランドである織田信長、安土など)の魅力を表現し、外国人に「行ってみたい」と思ってもらえる、とくに本市がインバウンド(訪日外国人旅行者)誘客に重点を置いている、欧州(特にフランス・イタリア)をターゲットとした動画を制作した。 通常版：7分程度、ダイジェスト版：30秒程度 言語：英語・フランス語・イタリア語・韓国語												
	事業独自の重要業績評価指標(KPI)	外国人入込客数											
			数値	単位	時期								
		基準値	3,275	人	H26								
		目標値	3,500	人	H31								
		実績	H29末 4,285	H30末 5,629	R元末 8,327								
達成状況		達成している(☆☆☆☆)											
決算 (未確定のものは 予算額)	費目	金額(円)		費目	金額(円)								
	1 委託料	2,937,000	6										
	2		7										
	3		8										
	4		9										
	5		10										
合計					2,937,000								
次年度スケジュール	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	<p>動画を活用したプロモーションの展開・情報発信等</p>												

総合戦略事業 事業シート

No.	5	年度	令和元年	担当課	文化観光課								
事業名	観光動向調査・データ分析												
総合戦略における位置付け	(2) 新しいひとの流れをつくる ①地域資源を活かした新たなひとの流れをつくる												
	重要業績評価指標 (KPI)	観光入込客数 (滋賀県観光入込客統計調査)											
			数値	単位	時期								
		基準値	3,021	千人	H25								
	目標値	3,300	千人	H31									
事業の目的	新たなひとの流れを創り、地方創生を達成するため滋賀県や周辺地域の連携を強化し、地域一体となって、まちづくり観光を推進するため観光情報マネジメントの視点により戦略的に取り組むことを目的とする。												
昨年度までの実績	* 令和元年度新規事業												
今年度実績	○観光動向調査・データ分析業務 観光客の詳細な動向を把握し、地域の実情に即したより効果的な観光戦略を今後展開していくため、従来の入込客数、宿泊客数の把握にとどまらず、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率等の調査、分析を行った。 また、地域における観光関連データの共有と活用に関する先進事例を調査するとともに、本市の観光規模に適した仕組みの検討、および令和2年放映のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の好機を活かすべく、調査にて得られたデータを活用し、安土地域への誘客促進となるような観光戦略の検討を行った。												
	事業独自の重要業績評価指標 (KPI)	観光入込客数 (滋賀県観光入込客統計調査)											
			数値	単位	時期								
		基準値	3,021	千人	H25								
		目標値	3,300	千人	H31								
	実績	H29末	H30末		R元末								
5,339千人		5,476千人		5,659千人									
達成状況	達成している (☆☆☆☆)												
決算 (未確定のものは 予算額)	費目	金額 (円)		費目	金額 (円)								
	1 委託料	1,990,000	6										
	2		7										
	3		8										
	4		9										
	5		10										
合計					1,990,000								
次年度スケジュール	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	 <p>調査・データ分析を活かした観光戦略の検討</p>												

総合戦略事業 事業シート

No.	6	年度	R元	担当課	健康推進課
事業名	近江八幡0次予防シェアリングプラットフォーム形成事業				
総合戦略における位置付け	(4) 時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守る ④健康長寿の安寧のまちをつくる (4) 生涯を通じた健康長寿をサポートする福祉・医療の充実				
	総合戦略における重要業績評価指標(KPI)	シニア層の就業者数(国勢調査)			
			数値	単位	時期
		基準値	1,682	人	H22年度
	目標値	2,000	人	R2年度	
事業の目的	地域における0次予防に係るプラットフォームを整備することで、従来の1次予防から3次予防という疾病対策に偏った対策ではなく、その人らしい生き方・死に方を実現するための基盤としての「0次予防」を実現するとともに、地域人材の育成・活用、地域課題のソーシャルビジネス化を通じ、高齢者が健康でアクティブに生活できる生涯活躍のまちを推進することを目的とする。結果、行政課題である医療費・介護費用の抑制を図る。				
昨年度までの実績	平成30年度は事業スタートの年度であり、当施設の目的を市民周知していくことを第1とし様々な機会を通じて啓発を行い、以下の5事業を展開した。 ①健康情報発信センター運営事業 市民が自身の健康状態や健康づくりの結果を把握する機会として測定機器の活用促進。測定は健康サポーターが担い健康維持への動機付け・強化を行った。 測定人数 実数432人 ②健康未来食品販売事業 発酵食品を使った健康食をランチとして提供。健康的な食事を体験できる場として健康サポーターが調理販売を担当(カフェは毎日・ランチは週1回提供) ランチ40回 延842人 カフェ 延754人 ③健康サポーター育成事業 0次予防に資する人材養成として、市民自らが地域での様々な役割を見出し生涯現役として活躍し続けることであり、サポーター養成講座を開催。 高齢者の居場所養成講座 24人 ④まちの保健室相談事業 体力チェック後の相談を実施。また、様々な専門スタッフによるサロンを定期的に開催。 排泄5回 延62人・栄養2回 延15人・コミュニケーション2回 延17人 ⑤健康サポーター活躍事業 0次予防センターにおいて健康サポーターが情報発信や健康未来食品販売事業において活動。それ以外でも、各地域や居場所の運営に活躍しているサポーターが多く、サポーターの体力維持を目的とした講座を実施。 体力維持講座18回				
今年度実績	①健康情報発信センター運営事業 0次予防の概念について関係機関や市民への理解を深めるための機会を提供するとともに、運動サポーターの活躍により、市民が自身の健康状態や健康づくりの結果を把握する機会として体力測定及び運動の体験を行い、健康維持への動機付け・強化を行った。 測定人数 実数197人・運動体験 実数63人 ②健康未来食品販売事業 健康サポーターの調理による発酵食品を使った健康未来食のランチの提供を行った。同時に、健康未来食品の販路の拡大のため、厨房やカフェを0次予防の趣旨に賛同した市民や民間事業所に貸館を行うための手法として「ワンディキッチン、ワンディレッスン」について令和2年度の実施に向け検討した。 ランチ40回 延639人・カフェ 延240人 ③健康サポーター育成事業 地域の高齢者の居場所づくりの活動の担い手になることで生涯活躍の推進役になることを目的に健康サポーターの養成講座を実施した。 高齢者の居場所養成講座 16人(内8人が新たな居場所の立上げに向け活動中) ④まちの保健室相談事業 医療機関のない小学校区における、身近な相談機関として常設相談を開催した。また様々な専門スタッフによるサロンを開催した。 常設相談 13件・カフェサロン 5回 108人 ⑤健康サポーター活躍事業 健康サポーターがモチベーションを維持し、質の高いボランティア活動を継続するために、新たな知識や技術の取得及びサポーター同士の情報交換や悩みを共有するサポーターの居場所を設け活動の支援を実施した。 体力維持講座40回・健康サポーターフォローアップ研修3回				
		0次予防における健康サポーターの認定数			

	事業独自の 重要業績評価指標 (K P I)		数値				単位		時期					
			基準値		55		人		H30末					
			目標値		50		人		R元末					
			実績		H29末		H30末		R元末					
	37				24		16							
達成状況		あまり達成していない(☆☆)												
決算 (未確定のものは 予算額)	費目		金額(円)				費目				金額(円)			
	1	施設維持管理事業	2,168,000		6		運営事業		6,769,000					
	2	(内 光熱水費)	692,000		7		(内 報償費)		702,000					
	3	(内施設維持委託料)	1,342,000		8		(内運営支援委託料)		3,212,615					
	4				9		(内 備品購入費)		64,800					
	5				10									
		合計								8,937,000				
次年度スケジュール	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	①測定・運動体験 年間を通し実施													
	②市民周知・募集				②ワンディオーナーによるワンディキッチン・ワンディレッスンの実									
	③人材育成講座(前期・後期)						⑤フォローアップ講座(月1回)							
	④まちの保健室相談事業 年間を通し実施													



No.	7	年度	R元	担当課	健康推進課								
事業名	共生型居場所づくり&コグニウォーク推進事業												
総合戦略における位置付け	(4) 時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守る ④健康長寿の安寧のまちをつくる (3) 生涯を通じた健康長寿をサポートする福祉・医療の充実												
	総合戦略における重要業績評価指標(KPI)	数値		単位	時期								
		基準値											
		目標値											
事業の目的	<p>高齢者のフレイル予防や認知症予防に重要な筋力低下・低栄養予防、自己管理能力向上・社会参加を一体的に体験・学べる環境を整備する。また0次予防センターで育成した健康サポーターが生涯活躍できる場を創出する。共生型の環境整備により高齢期以外の市民の運動環境の提供にも繋がり、多様な世代の地域づくりに寄与することができる。</p> <p>また、健康はちまん21プランに位置づく運動環境の整備を目的として、既存の社会資源を利用することで、市民、社会資源など地域と密着した事業展開ができ、健康づくり環境が可視化できる。さらに、企業の社会貢献と自立支援の考え方の普及につながる。</p>												
昨年度までの実績													
今年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症による事業中止を除き、年間10回を計画的に開催し、5コースを開拓。評価指標を概ね達成した。</li> <li>・市民が地域を知り、地元の良さを再発見することを目的に、地域の資源をコースに取り入れて設定した。繰り返し参加を希望するリピーターが2割を占めたことから、さらに地域活動への関心につながる可能性を見い出せた。</li> <li>・各回の事業実施に止まらず、共に事業企画を進めてきた生活支援コーディネーターと次の課題・方向性を見出すことができた。①本来の主旨である認知症・フレイル予防について、他事業と連動させて強化②参加者拡大に向けた体験会や啓発資材の作成を進める③②による「共生型」への転換の推進。</li> </ul>												
	重要業績評価指標(KPI)	「コグニウォーク」延参加者数											
		数値		単位	時期								
		基準値		0	人	-							
		目標値		200	人	R3年度末							
		実績		H29末	H30末	R元末							
	達成状況		概ね達成している(☆☆☆)										
	重要業績評価指標(KPI)	「コグニウォーク」に協働して参加した延ボランティア数											
		数値		単位	時期								
		基準値		0	人	-							
		目標値		100	人	R3年度末							
		実績		H29末	H30末	R元末							
	達成状況		概ね達成している(☆☆☆)										
重要業績評価指標(KPI)	「コグニウォーク」に協働して参加した企業数												
	数値		単位	時期									
	基準値		0	社	-								
	目標値		12	社	R3年度末								
	実績		H29末	H30末	R元末								
達成状況		概ね達成している(☆☆☆)											
予算 (未確定のものは 予算額) ※R2.2時点	内訳		金額(円)		内訳		金額(円)						
	1	報償費	11,000	6	使用料			26,000					
	2	消耗品費	120,000	7									
	3	印刷製本費	432,000	8									
	4	通信運搬費	370,000	9									
	5	旅費	6,000	10									
合計							965,000						
次年度スケジュール	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3

総合戦略事業 事業シート

No.	年度	令和元年	担当課	総合政策部企画課	
事業名	安寧のまちづくり（CCRC）推進事業				
総合戦略における位置付け	(4) 時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守る ④健康長寿の安寧のまちをつくる (1) 生涯活躍のまちづくり（日本版CCRC）によるアクティブシニア層の移住拠点の創出と新規就業のための多世代による支援体制の充実				
	総合戦略における重要業績評価指標（KPI）	近江八幡市版CCRC整備箇所数			
			数値	単位	時期
		基準値	(新規)	—	平成27年度
	目標値	1	か所	平成31年度	
事業の目的	近江八幡市ならではの魅力と資源を地域内外の人々との共創により活かし育て、最後まで元気に暮らせる「安寧のまち」（近江八幡市版CCRC）を立地環境や地域特性ごとにデザインし、その具体化を図る。				
昨年度までの実績	<p>【平成27年度（平成26年度 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型・上乘せ））】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安寧のまちづくり（近江八幡市版CCRC）基本構想の策定</li> <li>○プロモーション事業（PR冊子・動画の制作、東京メトロ車内中吊り広告の実施）</li> </ul> <p>【平成28年度（平成27年度 地方創生加速化交付金）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安寧のまちづくり基本計画の策定</li> </ul> <p>【平成28年度（平成28年度 地方創生推進交付金）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プロモーション事業</li> </ul> <p>【平成29年度（平成29年度 地方創生推進交付金）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安寧のまちづくり推進計画の策定</li> <li>○安寧のまちづくり推進協議会の運営</li> <li>○共創プラットフォームの管理運営</li> <li>○提案募集事業（アイデアコンペ等）の実施</li> <li>○安寧のまち情報センターの運営</li> <li>○プロモーション事業</li> <li>○パートナー事業者募集を実施（場所：西の湖エリア、募集要項を策定し募集）</li> </ul> <p>【平成30年度（平成30年度 地方創生推進交付金）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安寧のまちづくり推進協議会の運営</li> <li>○共創プラットフォームの管理運営</li> <li>○拠点整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・西の湖エリア…パートナー事業者協定を締結。事業計画を作成。</li> <li>・上記以外の4エリア…各拠点にてWSの開催などを実施し機運の醸成を図った。</li> </ul> </li> <li>○安寧のまち情報センターの運営</li> <li>○プロモーション事業</li> </ul>				
	<p>(1) 安寧のまちづくり推進協議会の運営 基本計画の推進に当たり、事業の実施方針の検討や協議を行うため協議会を1回開催。(3/25に実施予定)</p> <p>(2) 拠点の整備 ①西の湖エリアの整備事業（「静かな水辺で暮らす」タイプ） 昨年度末に事業計画を策定。 今年度は事業を進めるにあたり、デザインコードやまちのルールについて協議。 ⇒最終案が事業者より提出され、3月25日に開催する推進協議会にて意見を取りまとめる。</p> <p>②老蘇学区（「晴耕雨読の暮らし」タイプ） 会議体「老蘇学区安寧のまちづくり推進委員会」（地域住民有志16名）を設置し、次の事業を実施。 ・11月29日 老蘇コミュニティセンターにて委員会を開催 アンケート調査実施についての意見交換、WS形式で老蘇のビジョンの検討。 ・12月12日～1月10日にかけて、アンケート調査の実施。配布809世帯、回収526世帯。 ・1月24日 第1回まちづくり勉強会開催。（テーマ：外出支援の仕組み） ・アンケート報告会及び委員会を開催、アクションプランの策定は次年度以降に実施予定。</p> <p>③沖島（「レイクサイドの暮らし」タイプ） 沖島町離島振興推進協議会と連携し、沖島の今後の地域課題や資源の発掘、</p>				

今年度実績	住民の機運醸成を図るため次の事業を実施した。 ・1月上旬にお試し居住プログラムの作成、参加者募集。 ・住民を対象としたまちづくり勉強会は次年度以降に開催予定。 ※②③は業務委託で実施 <b>(3) 安寧のまち情報センター（旧吉田邸内に設置）の運営</b> ・1名を3/1付けで地域おこし協力隊として委嘱。 ・前任に引き続き、プロジェクトに関するPR活動、WEB・SNSを活用した情報発信など事業推進に関する発信を行う。 これに加え、伝統的建造物群保存地区周辺エリア（「まちなかの古民家で暮らす」タイプ）において、プロジェクトの推進及び地域住民の機運醸成に関する活動を行う。 <b>(4) プロモーション活動の実施</b> ①潜在移住希望者発掘のため、ロングステイに係るプロモーション活動を実施。 ・モニターツアーの実施 ・記事広告掲載：過去4回実施したモニターツアーレポート等から、本市でのロングステイプランを作成し掲載。 ・ロングステイフェア（東京都千代田区：大和ハウス工業東京ビル）への出展。 ⇒出展者数：51社・団体、来場者：4,890名、本市ブース来訪者：88名 ②大阪移住フェアへの出展 ・「3県（滋賀県、三重県、岐阜県）合同移住フェアin大阪」に出展。 ⇒出展者数：39自治体・団体、来場者：56組（86名）、本市ブース来訪者：12名 ※①は業務委託で実施												
	事業独自の 重要業績評価指標 (KPI)			「安寧のまちづくり」拠点整備のワークショップ参加者数									
				数値			単位			時期			
				基準値			人			R1			
				目標値			人			R3			
実績			H29末			H30末			R元末				
			-			-			38				
達成状況													
決算 (未確定のものは 予算額)	費目		金額（円）				費目				金額（円）		
	1	報償金	790,000		6		使用料		50,000				
	2	旅費	679,000		7								
	3	需用費	212,000		8								
	4	役務費	44,000		9								
	5	委託料	5,714,000		10								
合計										7,489,000			
次年度スケジュール	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	● 協議会		● 協議会						● 協議会			● 協議会	
	拠点整備事業(西の湖エリア)												
	拠点整備事業(西の湖エリア以外)												
	安寧のまち情報センターの運営												
プロジェクトにかかるプロモーション事業													